

平成16年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成17年1月1日報告分以降、報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤60件、血漿分画製剤4件である。
輸血用血液製剤の内訳は、

(1) B型肝炎報告事例：	29
(2) C型肝炎報告事例：	22
(3) HIV感染報告例：	1
(4) その他の感染症報告例：	8
- 2 B型肝炎報告事例
 - (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）が陽転した事例は25例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は12例）。
 - (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は1例。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例（劇症化例含む。）である。
- 3 C型肝炎報告事例
 - (1) 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）が陽転した事例は20例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は7例）。
 - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - (3) 輸血後に死亡したとの報告を受けた事例は0例。
- 4 HIV感染報告事例
HIV感染報告疑い事例は1例であるが、WB検査で（±）、輸血後HIV-NAT及び供血者個別NAT共に陰性。
- 5 その他感染症報告事例
 - (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例である。
 - (2) E型肝炎感染疑い事例は1例であるが、輸血後HEV-NAT及び供血者個別NAT共に陰性。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例である。
- 6 血漿分画製剤での報告事例
 - (1) 前回報告で調査中であった人血清アルブミン・フィブリノゲン加第13因子は、投与との関係なしとして報告が主治医により取り下げられた。
 - (2) 新規あ3例については、原料血漿のNAT陰性、ウイルスクリアランスも確認している。

輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受信日	一般名	患者性別	年代	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/1/4	2005/1/19	新鮮凍結人血漿	男	30	消化器疾患	04/05		HBsAg(+) HBsAg(-) HBsAb(-) (04/11①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (04/12②)	陽性(輸血後)	陰性		医療機関報告あり	24単位	4/12	12本の原料血漿、12本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は全て使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
2005/1/6	2005/1/19	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	70	血液腫瘍	04/10-04/12	HBsAg(-) (04/10)	HBsAg(-) HBsAg(-) HBsAb(+) HBsAg(-) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/1②)	陰性(輸血後)	陰性			12単位 55単位 20単位	7/23	15本の原料血漿、11本の赤血球MAP、13本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は9本確保済み。新鮮凍結血漿8本確保済み。	原料血漿は6本使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。新鮮凍結血漿は、5本医療機関供給済み。供給されたうち未使用の1本は回収済み。
2005/1/7	2005/1/19	人赤血球濃厚液	女	<10	消化器疾患	04/08	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/08)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAg(-) HBsAb(+) (04/9①) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBV-DNA(-) (04/11②)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性	乾燥抗HBs人免疫グロブリン HBcAb(+) HBsAb(+) HBsAg(-) HBsAb(+) の者から肝移植をうける 肝移植ドナー検体 HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAg(+) HBV-DNA(+)	2単位	1/1	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。		
2005/1/12	2005/1/26	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	血液疾患	04/10	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/10)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/01①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/01②)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陽性(1) 陰性(14)			20単位 6単位	2/15	7本の原料血漿、11本の新鮮凍結血漿、12本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿3本確保済み。	赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。新鮮凍結血漿8本供給済み。
2005/1/17	2005/1/26	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	04/12	HBsAg(-) (02/9)	HBsAg(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/1①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/2②)	陽性(輸血後)	陰性			30単位	3/3	3本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。

2005/1/26	2005/2/8	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	04/04- 04/08	HBsAg(-) (04/8)	HBsAg(+) HBsAg(+) HBV-DNA(+) (05/1①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb-IgG(-) HBcAb-IgM(-) HBV-DNA(+) (05/1②)	陽性(輸血後)	陰性		58単位 240単位 140単位	44/68	66本の原料血漿、9本の新鮮凍結血漿を製造。34本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を確保済み。	原料血漿32本使用済み。新鮮凍結血漿8本医療機関へ供給済み。
2005/1/27	2005/2/10	人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	男	50	血液疾患	03/01- 04/03	HBsAg(-) (03/1)	HBsAg(+) (04/12①) HBsAg(+) (05/1②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb-IgG(+) HBcAb-IgM(-) HBV-DNA(+) (05/1③)	陽性(輸血後)	陰性	ヴェノグロブリン、ポリグロブリン、ペニロン	620単位 56単位	78/98	94本の原料血漿、16本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は1本確保済み。	原料血漿は93本使用済み。新鮮凍結血漿はすべて医療機関へ供給済み
2005/2/1	2005/2/15	人赤血球濃厚液	男	50	消化器腫瘍	04/09	HBsAg(-) (04/9)	HBsAg(+) HBcAb(-) (04/10①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/10②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/1③)	陽性(輸血後)	陰性		6単位	1/3	5本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。	
2005/2/4	2005/2/28	人赤血球濃厚液	男	60	血液腫瘍	04/12	HBsAg(-) HBsAb(-) (03/12①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBsAg(-) HbsAb(-) HBV-DNA(-) (04/12②)	HBsAg(+) (05/02①)米国 HBV-DNA(-) (04/12②) HBV-DNA(-) (05/01③)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性		6単位	0/3	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/2/4	2005/2/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	04/09- 04/11	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/09)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBV-DNA(+) (04/10①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/11②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/01③) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/02④)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	患者死亡 GenotypeB、Subtype adw CP/PreC領域:e抗原が産生できない変異株 HBV-DNA量:2.9×1010copies/mL 採血依頼に応じた3人のうち1人からHBcAb(+)[EIA法] HBV-DNA(-) 供血者選及によりHBcAb(+)となった者の保管検体 HBcAb(+)[EIA法]	14単位	5/9	7本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は2本確保済み。	新鮮凍結血漿は2本医療機関へ供給済み

2005/2/10	2005/2/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	40	腫瘍	04/07	HBsAg(-) (04/7)	HBsAg(+) (04/12①) HBsAg(+) (05/1②) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/2③)	陰性(輸血後)	陰性		2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。 原料血漿は確保済み。	
2005/2/14	2005/2/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	04/11	HBsAg(+) (04/8①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/11②)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/1①) HBV-DNA(+) (05/1②)	陽性(輸血後) 陽性(輸血後)	陰性		20単位	0/1	1本の原料血漿を製造。 原料血漿は確保済み。	
2005/2/18	2005/3/2	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	60	循環器疾患	05/02	HBsAg(-) HBV-DNA(-) (04/11)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBV-DNA(-) (05/2)	陰性(輸血後) 陰性(輸血後)	陰性		2単位 6単位 6単位 10単位	0/8	8本の原料血漿、3本の 赤血球MAP、3本の新鮮 凍結血漿を製造。原料 血漿は全て確保済み。 新鮮凍結血漿は全て確	赤血球MAPは全て医療機 関へ供給済み
2005/2/22	2005/3/8	人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	女	70	血液腫瘍	04/04- 05/02	HBsAg(-) (04/3①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/4②)	HBsAg(+) (04/12①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/12②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/2③)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性		240単位 78単位	28/63	62本の原料血漿、18 本の新鮮凍結血漿を製 造。原料血漿は55本確 保済み。新鮮凍結血漿 は8本確保済み。医療機 関へ供給したもののうち 1本は回収。	原料血漿は7本使用済み。 新鮮凍結血漿は10本医療 機関へ供給済み。医療機 関へ供給したもののうち1本 は回収。
2005/2/22	2005/3/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	04/06	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb-IgM(-) (04/5)	HBsAg(+) HBsAg(+) HBcAb-IgG(+) HBcAb-IgM(+) HBV-DNA(-) (05/1①) HBV-DNA(-) (05/2②)	陰性(輸血後) 陰性(輸血後)	陰性		20単位	2/2	2本の原料血漿を製造。 原料血漿は1本確保済 み。	原料血漿は1本使用済み。
2005/2/24	2005/3/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	03/04	HBsAg(-) (03/4)	HBsAg(+) (05/2①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (05/2②)	陰性(輸血後)	陰性	取り下げ症例	2単位	1/1	1本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。
2005/2/25	2005/3/10	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	40	血液腫瘍	04/12	HBsAg(-) (04/10①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (04/12②)	HBsAg(+) (05/2①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/2②)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	取り下げ症例	70単位 10単位	7/12	12本の原料血漿を製 造。原料血漿は全て確 保済み。	
2005/3/7	2005/3/18	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液	女	70	血液腫瘍	04/06	HBsAg(-) (04/5)	HBsAg(+) (05/3①) HBV-DNA(+) (05/3②)	陽性(輸血後)	陰性		25単位 10単位	3/3	3本の原料血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済 み

2005/3/9	2005/3/23	新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	04/09	HBsAg(-) (04/8)	HBsAg(判定保 留) HBeAb(+) (05/2①) HBV-DNA(+) (05/2②) HBsAg(+) HBeAb(-) HBcAb(+) (05/2③) HBsAg(+) (05/2①) HBsAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/2②) HBsAg(+) (05/2①) HBeAb-IgM(-) HBcAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBV-DNA(-) (05/3②) HBV-DNA(+) (05/3③)	陽性(輸血後)	陰性			20単位 10単位	4/11	10本の赤血球MAP、9本の新鮮凍結血漿、2本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	赤血球MAP、新鮮凍結血漿はすべて医療機関へ供給済み
2005/3/10	2005/3/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	02/07	HBsAg(-) (02/4)	HBsAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/2②) HBsAg(+) (05/2①) HBeAb-IgM(-) HBcAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBV-DNA(-) (05/3②) HBV-DNA(+) (05/3③)	陽性(輸血後)	陰性			2単位	1/1	1本の原料血漿と1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/3/15	2005/3/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	女性器腫瘍	04/12	HBsAg(-) (04/10①) HBV-DNA(+) (04/12②)	HBsAg(+) HBeAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/2②) HBsAg(+) (05/2①) HBeAb-IgM(-) HBcAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBV-DNA(-) (05/3②) HBV-DNA(+) (05/3③)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			4単位	0/2	2本の原料血漿と1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。	調査中
2005/3/17	2005/3/29	新鮮凍結血漿 人赤血球濃厚液	男	70	消化器疾患	98/06	HBsAg(-)	HBsAg(-) HBeAb(+)			保管検体19本についてHBV-NAT検査予定		26単位 12単位	調査中	調査中	調査中
2005/3/18	2005/3/29	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液疾患	04/05- 05/01	HBsAg(-) (04/5)	HBsAg(+) HBV-DNA(+) (05/1①) HBsAg(-) HBeAb(-) HBeAb-IgM(-) (05/1②) HBsAg(-) HBeAb(-) HBcAb(+) HBeAb-IgM(-) (05/1③) HBsAg(-) (03/8①) HBsAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) IgM-HBeAb(-) HBV-DNA(-) (05/1②)	陰性(輸血後)	陰性			14単位 26単位 120単位 290単位	44/81	55本の原料血漿、13本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は9本確保済み。	新鮮凍結血漿の4本は医療機関へ供給済み。
2005/3/22	2005/3/29	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	02/08	HBsAg(-) (01/12①) HBsAg(-) HBeAb(-) (02/4②)	HBsAg(-) HBeAg(-) HBeAb(+) HBcAb(+) IgM-HBeAb(-) HBV-DNA(-) (05/1②)	陰性(輸血後)	陰性	1-04000222で供血者陽性であったため、追跡調査で判明した症例。(別紙・低濃度キャリア感染事例)		10単位		1本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。
2005/3/24	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 新鮮凍結血漿	男	60	消化器疾患	04/12- 05/03	HBsAg(-) (04/12)	HBsAg(+) HBV-DNA(-) (05/3)	陰性(輸血後)	陰性			42単位 10単位 5単位	1/23	22本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/3/24	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器疾患	04/10	HBsAg(-) (04/4)	HBsAg(+) HBV-DNA(+) (05/3)	陽性(輸血後)	陰性			4単位	1/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み	

2005/3/25	2005/4/6	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	80	血液腫瘍	03/11-04/07	HBsAg(-) HBsAb(+) (03/10①) HBsAg(-) (05/3②)	HBsAg(+) (05/3①) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBsAb(-) IgM-HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/3②)	陰性(輸血後)	陰性			130単位	12/13	13本の原料血漿を製造	原料血漿は全て使用済み
2005/3/25	2005/4/6	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 新鮮凍結血漿	女	<10	循環器疾患	05/02	HBsAg(-) HBsAb(-) (05/1)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) (05/3)		保管検体25本についてHBV-NAT検査予定	ヴェノグロブリン-IH		40単位 20単位 20単位	5/25	25本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿、10本の赤血球MAPを製造。原料血漿の使用状況は調査中。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み
2005/3/28	2005/4/6	人赤血球濃厚液	男	50	消化器腫瘍	04/11-05/01	HBsAg(-) (04/11①) HBsAg(-) (05/1②) HBsAg(-) (05/2③) HBsAg(+) HBsAb(+) (05/3④) HBsAg(-) HBsAb(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/3⑤)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/3⑤)	陰性(輸血後)	陰性			16単位	0/8	6本の原料血漿、8本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/3/28	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	80	腎疾患	04/10	HBV-DNA(-) (04/8①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (04/10②)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/1)		保管検体1本についてHBV-NAT検査予定			2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿の使用状況は調査中。	
2005/3/31	2005/4/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	骨折	04/09	HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (04/9)	HBsAg(-) (04/10①) HBV-DNA(+) (04/11②)		保管検体4本についてHBV-NAT検査予定			8単位	調査中	調査中	調査中

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受理日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/1/7	2005/1/19	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	70	心疾患	04/7	HCV-Ab(-) (04/3)	HCV-Ab(+) (04/12①) HCV-RNA(+) (04/12②)	陽性(輸血後)	陰性			19単位 10単位	3/18	19本の原料血漿、5本の赤血球MAP、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿の14本、新鮮凍結血漿の1本は、確保済み。	原料血漿の5本は使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。新鮮凍結血漿3本は、医療機関供給済み。供給されたうち未使用の3本は回収済み。
2005/1/19	2005/2/2	人血小板濃厚液HLA 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液	女	80	血液疾患	04/8-05/1	HCV-Ab(-) (04/9)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1)	陽性(輸血後)	陰性			325単位 2単位	24/34	34本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	

2005/1/19	2005/2/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液疾患	04/11		HCV-Ab(-) HCV-RNA(+) (04/11)	陽性(輸血後)	陰性			7単位	0/4	4本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/1/21	2005/2/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	消化管疾患	04/9- 04/11	HCV-Ab(-) (04/9)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1)	陽性(輸血後) ジェノタイプb	陰性			6単位	0/3	2本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/1/25	2005/2/8	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	女	80	骨折	04/11	HCV-Ab(-) (04/11)	HCV-Ab(+) (05/1)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性			2単位 4単位	0/4	4本の原料血漿を製造、全て確保済み	
2005/1/28	2005/2/10	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	60	心疾患	04/09- 04/10	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-) (04/9)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (04/10①) HCV-RNA(-) (04/10②) HCV-Ab(+) HCV-Ag2(-) HCV-RNA(-) (05/1③) HCV-Ab(-) (04/1④)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性			14単位 5単位	1/9	7本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿と新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/1/31	2005/2/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	30	腎疾患	03/09	HCV-Ab(-) (03/1)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (04/1②) HCV-Ab(+) HCV-cAg(-) (05/1①)	陽性(輸血後)	陰性			8単位	0/4	2本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み。
2005/1/31	2005/2/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	消化器腫瘍	04/10- 04/11	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-) (04/10)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1②) HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (05/1②)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性			4単位	0/2	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み	
2005/2/1		人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	循環器疾患	04/11	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+)						2/4	4本の原料血漿を製造、調査中。	
2005/2/1	2005/2/15	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿	女	<10	心疾患	03/10	HCV-Ab(-) (03/9)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1)	陽性(輸血後)	陰性			4単位 2単位	0/3	3本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿、1本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は全て使用済み、新鮮凍結血漿、赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
2005/2/3	2005/2/18	人赤血球濃厚液 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液	男	80	循環器疾患	04/08	HCV-Ab(-) (04/7①) HCV-RNA(-) (04/8②)	HCV-Ab(+) (04/12①) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1②)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			12単位 14単位 10単位	2/14	14本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿、6本の赤血球MAP、1本の洗浄赤血球を製造。原料血漿は5本確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み	原料血漿9本使用済み。赤血球MAP、洗浄赤血球は全て医療機関へ供給済み。
2005/2/8	2005/2/23	人赤血球濃厚液	女	70	外科的施術	03/01	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-) (00/4)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (05/1)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性			4単位	2/2	2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済み。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/2/15	2005/3/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	生殖器腫瘍	04/07	HCV-Ab(-) (04/6)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1)	陽性(輸血後)	陰性		医療機関報告あり 73313	4単位	0/2	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿製造。原料血漿はすべて確保済み	新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/2/16	2005/3/2	人赤血球濃厚液	女	<10	神経腫瘍	04/11	HCV-Ab(-) (04/11)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (05/2)	陰性(輸血後)	陰性		医療機関報告あり	1単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿は確保済み。	
2005/2/22	2005/3/8	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	骨折	04/10	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(+) (05/2①) HCV-RNA(-) HCV-Ab(+) (05/2②)	陰性(輸血後) 陰性(輸血後)	陰性			6単位 4単位	0/7	7本の原料血漿を製造。原料血漿はすべて確保済み。	
2005/2/23	2005/3/8	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	50	心疾患	05/01	HCV-Ab(-) (04/12)	HCV-Ab(-) HCV-RNA(+) (05/2)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			20単位 16単位 26単位	2/23	22本の原料血漿、8本の新鮮凍結血漿、13本の赤血球MAPを製造。原料血漿はすべて確保済み。新鮮凍結血漿は7本確保済み。	新鮮凍結血漿1本医療機関へ供給済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。

2005/2/23	2005/3/10	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	女	60	血液腫瘍	04/08- 04/12	HCV-Ab(-) HCV-RNA(-) (04/8)	HCV-Ab(-) HCV-RNA(+) (04/12①) HCV-Ab(+) HCV-Ag(+) HCV-RNA(+) (05/2②) HCV-Ab(-) (01/1①) HCV-Ab(+) (01/8②) HCV-Ab(+) (05/1①) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/2②)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			190単位 15単位 23単位 7単位	20/39	39本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は4本確保済み。	新鮮凍結血漿1本は医療機関へ供給済みで、未使用であり回収。
2005/3/2	2005/3/15	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	30	生殖器疾患	00/12		HCV-Ab(-) (01/1①) HCV-Ab(+) (01/8②) HCV-Ab(+) (05/1①) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/2②)		陰性	ガンマグロブリン		5単位	5/5	5本の原料血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。
2005/3/17	2005/3/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	腎疾患	04/08 ~ 04/08	HCV-Ab(-) (03/12)	HCV-Ab(+) (05/1①) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/2②)	陽性(輸血後)	陰性			8単位	2/4	4本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は2本確保済み。	原料血漿2本は使用済みで、新鮮凍結血漿は全て医療機関へ供給済み
2005/3/29	2005/4/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男		調査中	04/08	HCV-Ab(-) (04/8)	HCV-Ab(+) (05/3)			保管検体3本について HCV-NAT検 保管検体1本について HCV-NAT検		6単位	0/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿の使用状況は調査中。	
2005/3/29	2005/4/12	人赤血球濃厚液	男	70	循環器疾患	02/12	HCV-Ab(-) (02/12)	HCV-Ab(+) (05/3)					2単位	1/1	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿製造。原料血漿の使用状況は調	新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/3/31	2005/4/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	生殖器腫瘍	04/08	HCV-Ab(-) (04/7)	HCV-Ab(-) (04/9①) HCV-Ab(+) HCV-RNA(-) (05/3②) HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/2)	陰性(輸血後)	陰性			4単位	0/4	4本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	
2005/3/10	2005/3/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	04/05	HCV-Ab(-) (04/5)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/2)	陽性(輸血後)	陰性			2単位	0/1	1本の原料血漿と1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は確保済み。	新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。

36

輸血によるHEV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/1/31	2005/2/14	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液疾患	01/10	検体なし	HEV-IgM抗体(-) HEV-IgG抗体(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(+) HCVAb(-)	HEV-RNA(-) HBV-RNA(-) HCV-RNA(-)	HEV-RNA(-) HBV-RNA(-)			32単位 2単位	14/19 1名 HBeAb(+) 1名 ALT異常 いずれもHEV	17本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は全て使用済み。新鮮凍結血漿は全て医療機関へ提供済み。

輸血によるHIV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/3/1	2005/3/15	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液 新鮮凍結人血漿	男	60	心疾患	04/11	HIV-Ab CLEIA(+) HIV-1Ab WB(+) HIV-RNA(-) (05/2)		陰性(輸血後)	陰性	ハプトグロビン、 フィブリノゲン加 第13因子、トロンピン		4単位 10単位 20単位 17単位	3/12	9本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿、1本の赤血球MAPを製造。原料血漿は8本確保済み。新鮮凍結血漿はすべて確保済み。	原料血漿は1本使用済み。赤血球MAPは供給済み。

輸血による細菌等感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年代	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血率	同一供血者製剤確保率	同一供血者製剤使用率
2005/2/21	2005/3/2	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	消化器腫瘍	05/01-05/02				同一採血番号の血漿(3本)について、無菌試験を実施、適合			6単位		3本の原料血漿、3本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/1/6	2005/1/19	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	心疾患	04/12			serratia marcescens	同一採血番号の血漿(2本)について、無菌試験を実施、適合			4単位		2本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/2/24	2005/3/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	05/02			非溶血性副作用関連検査実施 抗血漿タンパク質抗体検査:陰性 血漿タンパク質欠損検査:欠損なし	同一採血番号の血漿(4本)について、無菌試験を実施、適合			4単位		4本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。	
2005/3/4	2005/3/18	人血小板濃厚液(放射線照射)	女	50	生殖器腫瘍	05/03				当該血小板製剤の残余について無菌試験を実施			10単位		調査中	
2005/3/23	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	消化器腫瘍	05/03		輸血後患者検体からグラム陰性桿菌が検出される		同一採血番号の血漿(1本)で無菌試験を実施する			2単位		1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は確保済み。	
2002/1/26	2005/2/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	脳疾患、腎疾患	05/01				同一採血番号の血漿について、無菌試験を実施、適合			2単位		1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は確保済み。	
2005/1/28	2005/2/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	消化器疾患	05/01		輸血後患者検体からグラム陰性桿菌が検出される		同一採血番号の血漿(2本)について、無菌試験を実施、適合			4単位		2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	

登録番号	FAX受付日	報告受付日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	原料血漿・製品NAT検査(再検査・製造時検査の別)	併用血液製剤等	備考
A-04000290	2005/1/13	2004/1/17	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	女	20	ギランバレー症候群	C型肝炎陽性	03/7		HCV(+)		原料血漿については、陰性(再検査も陰性)		
	2005/2/4		フィブリノゲン加第13因子 (併用:人血清アルブミン)	女	60	呼吸器腫瘍	C型肝炎	02/08		HCV(+)		原料血漿については、陰性(再検査も陰性)		
A05000008	2005/3/25	2005/4/8	フィブリノゲン配合剤 (フィブリノゲン加第13因子)	男	70	呼吸器腫瘍	C型肝炎	04/04	HCV-Ab(-)	HCV-Ab(-) HCV-PCR(+) ① HCVコア抗体(+) ② HCV-Ab(+) ③ HCV-PCR(-) ④	陽性化後、陰性	原料血漿については、陰性		